

聖餐式 ハヌカの祭り／献身

2022年12月19日



【ハヌカの祭り】

(ヨハネ10:22)

22 そのころ、エルサレムで宮きよめの祭りがあった。時は冬であった。

※神殿奉献記念祭(新共同訳)

2022年12月19日(月)は、ユダヤ暦では
5783年 キスレブ 25日 ※3月、9月
ハヌカの祭りの1日目です。

ハヌカの祭りは8日間続きます。

ユダヤ暦の年は、ラビたちが聖書に基づいて
天地創造から計算したという年数が採用
されています。

季節	ユダヤ暦		聖書暦	例祭
秋	ティスレ	Tishrei	7	新年
	ヘシボン	Heshvan	8	
	キスレブ	Kislev	9	ハヌカ
冬	テベット	Tevet	10	
	シバット	Shevat	11	
	アダル	Adar	12	プリム
春	ニサン	Nisan	1	過越祭
	イヤル	Iyyar	2	
	シバン	Sivan	3	五旬節
夏	タムズ	Tammuz	4	
	アヴ	Av	5	
	エルル	Elul	6	



【マカバイ戦争】

(ダニエル12：11)

11 常供のささげ物が取り払われ、荒らす忌まわしいものが据えられる時から、千二百九十日がある。

※大患難時代の中間期のこと

BC168 祭司の役は王朝に献金することによって得られていた
(アロンの家系ではない) → ユダヤ人同士の内紛

BC167 アンティオコス4世エピファネス (セレウコス朝シリア) によるユダヤの
ヘレニズム化

神殿にゼウスやオリンポスの神を添える

ユダヤ教の禁止令 ※安息日、割礼を守るものは死刑



【マカバイ戦争】

モディン村の祭司 **マタティア** がセレウコス朝シリアに対して立ち上がる ※ 日和ったユダヤ人とも対立

マタティアの死後、**ユダ・マカバイ** がリーダーとなり戦う

BC165 12月25日 神殿奪還

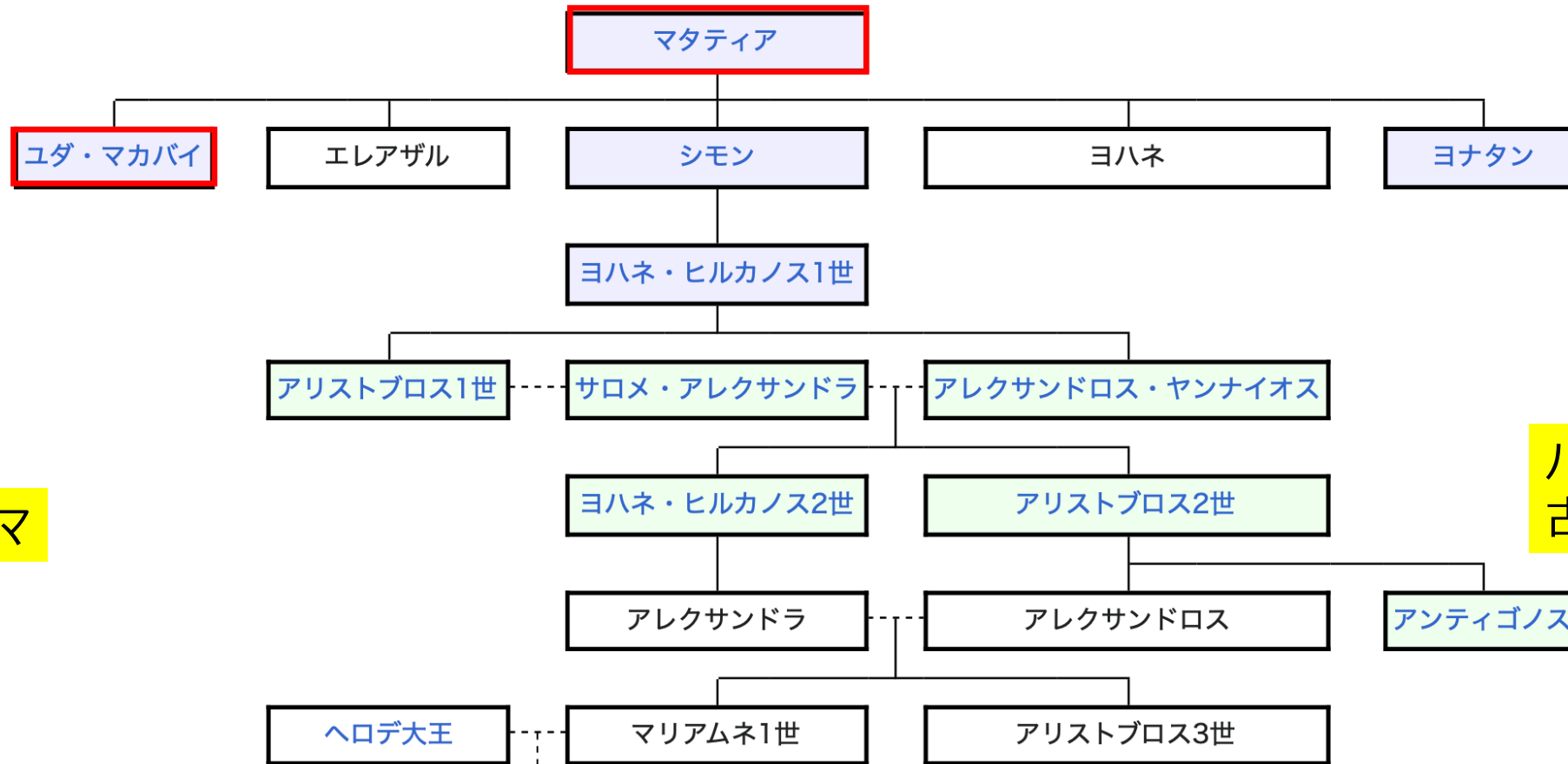
異教の祭壇を撤去することで神殿を聖め再びヤハウエに奉納を行った。

エルサレム神殿には1日分の油しかなかったが、それを点火すると、8日間も燃え続けたといわれています。ユダヤ人は、この祭りの期間、8本の枝の燭台に火をともします。（中央にもう1本枝があり、合計9本の枝になっている燭台を「ハヌキヤ」と言います）



【ハスモン朝】

マカバイ戦争の20年後に成立 BC140～BC37



ローマ

パルティア
古代イランの王朝

ヘロデ朝

エドム（イドマヤ）／ナバティア



【ハヌカの意味】

ハヌカとは、奉献（ハナーク）を意味する。

חֲנֻכָּה

chânak

khaw-nak'

自分の子を主に捧げることを意味する
その子は主の道を歩む

ハヌカとは、信仰的奉献の意味



【奉獻】

(ヨハネ10:22~31)

22 そのころ、エルサレムで宮きよめの祭りがあった。時は冬であった。

※神殿奉獻記念祭(新共同訳)

23 イエスは宮の中で、ソロモンの回廊を歩いておられた。

24 ユダヤ人たちは、イエスを取り囲んで言った。「あなたは、いつまで私たちに気をもませるのですか。あなたがキリストなら、はっきりと教えてください。」

25 イエスは彼らに答えられた。「わたしは話したのに、あなたがたは信じません。わたしが父の名によって行うわざが、わたしについて証ししているのに、

26 あなたがたは信じません。あなたがたがわたしの羊の群れに属していないからです。



【奉献】

- 27 わたしの羊たちはわたしの声を聞き分けます。わたしもその羊たちを知っており、彼らはわたしについて来ます。
- 28 わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは永遠に、決して滅びることがなく、また、だれも彼らをわたしの手から奪い去りはしません。
- 29 わたしの父がわたしに与えてくださった者は、すべてにまさって大切です。だれも彼らを、父の手から奪い去ることはできません。
- 30 わたしと父とは一つです。」



【ハヌカの祭りとクリスマス】

今日、ハヌカの祭りは、光の祭りとも言われます。

西洋の方々が盛大にクリスマスをお祝いするように、ユダヤ人たちは、このハヌカの祭りを祝います。

クリスマスが12月25日となったのは、ハヌカの祭りの影響を受けているし、今日、ユダヤ人たちが、光の祭りとして賑やかにハヌカの祭りを祝うようになったのもクリスマスの影響を受けています。

賑やかなクリスマスもハヌカの祭りも、父なる神がそのひとり子を世に与えてくださったことを忘れているのです。(クリスマスケーキにスフガニア)

(ヨハネ3:16)

16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。



【クリスマスの意味と目的】



1. 初臨の子羊なるメシアを思い出すこと
2. 再臨の王なるメシアへの希望を確かめること
3. 主イエスにある神との絆、兄弟姉妹との絆を確かめ合うこと

【聖餐式の目的】

1. キリストを記念すること

- ・パンで主イエスをぶどう酒で新約のしるしである血が象徴していることを記念する
- ・無から有を作り出すお方
- ・命の源

2. キリストの再臨の保証の確認

- ・一度限りで完璧に捧げられた死を記念し再臨の時までそれを告げ知らせる

3. キリストとの交わり、信者との交わりの恵



永遠の絆

(レビ17:11)

11 実に、肉のいのちは血の中にある。わたしは、祭壇の上であなたがたのたましいのために宥めを行うよう、これをあなたがたに与えた。いのちとして宥めを行うのは血である。



【自己吟味】

(第1コリント11：23～29)

23 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えました。すなわち、主イエスは渡される夜、パンを取り、

24 感謝の祈りをささげた後それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

25 食事の後、同じように杯を取って言われました。「この杯は、わたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。」

26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、杯を飲むたびに、主が来られるまで主の死を告げ知らせるのです。

27 したがって、もし、ふさわしくない仕方でパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して罪を犯すことになります。

28 **だれでも、自分自身を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。**

29 みからだをわきまえないで食べ、また飲む者は、自分自身に対するさばきを食べ、また飲むことになるのです。



【聖餐式】



(マルコ14：22)
22 さて、一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、神をほめたたえてこれを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」

(マルコ14：23)
23 また、杯を取り、感謝の祈りをささげた後、彼らにお与えになった。彼らはみなその杯から飲んだ。
24 イエスは彼らに言われた。「これは、多くの人のために流される、わたしの契約の血です。」

